

経営比較分析表（令和4年度決算）

高知県 南国市

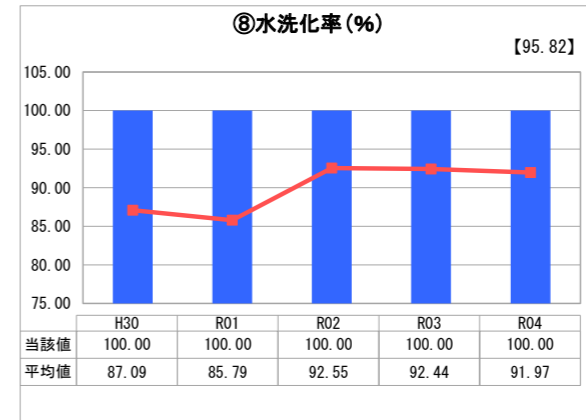
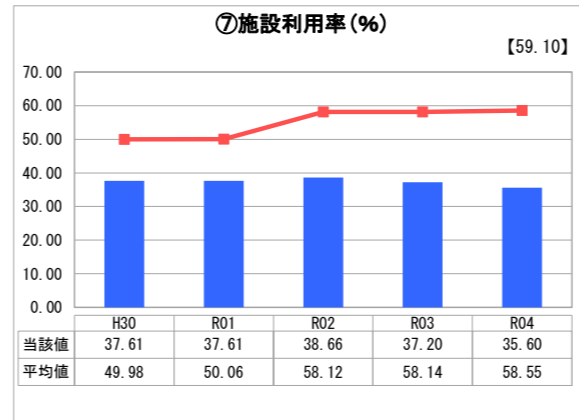
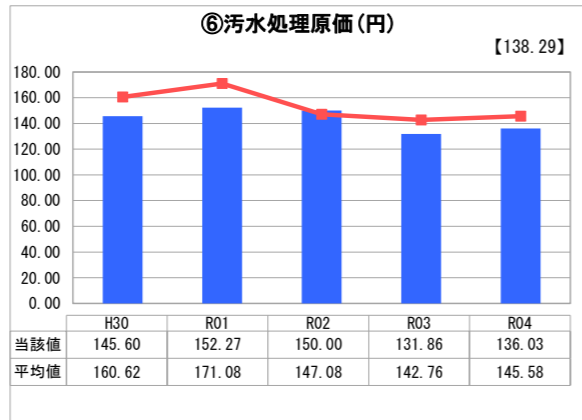
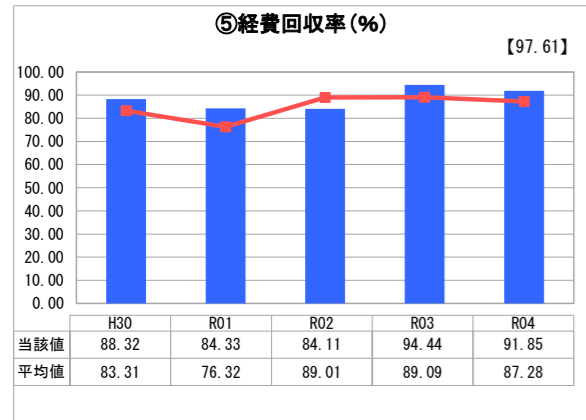
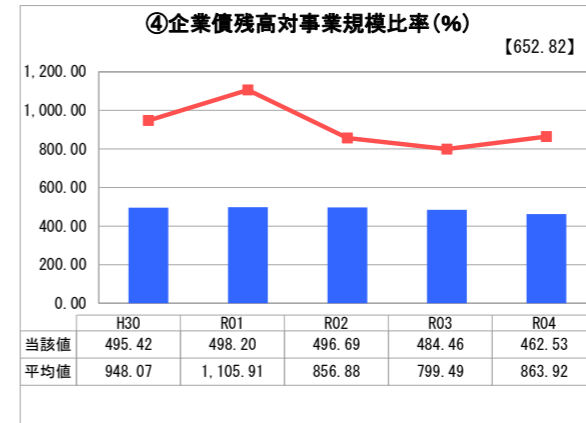
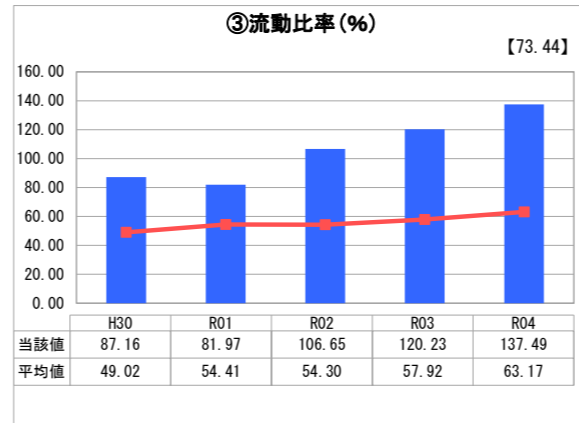
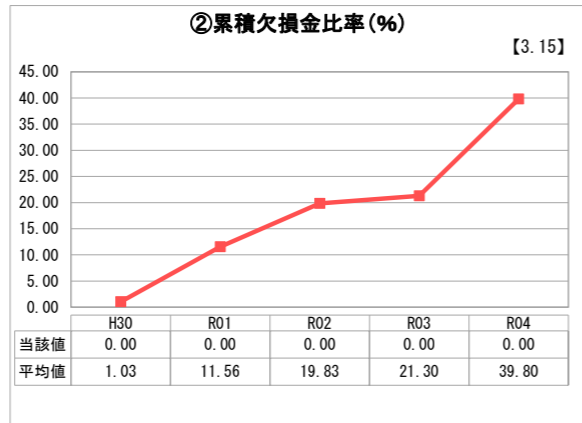
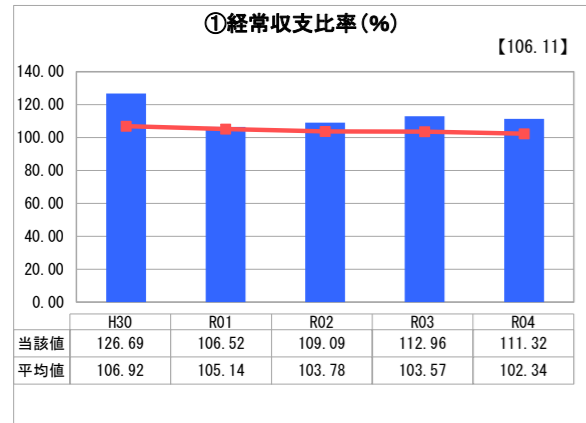
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cb1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	65.00	34.49	92.42	2,275

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
46,328	125.30	369.74
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
15,890	2.69	5,907.06

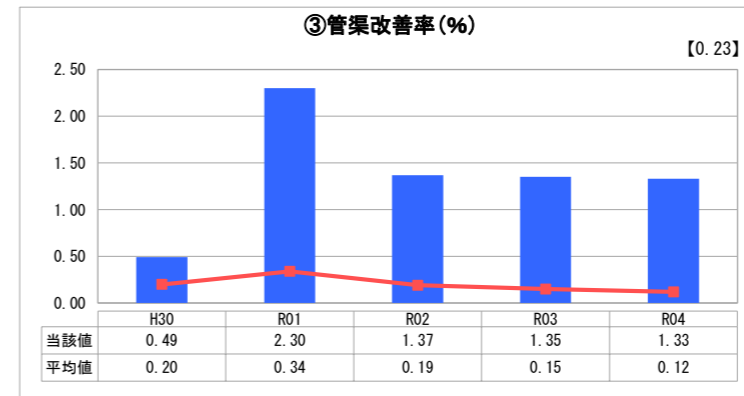
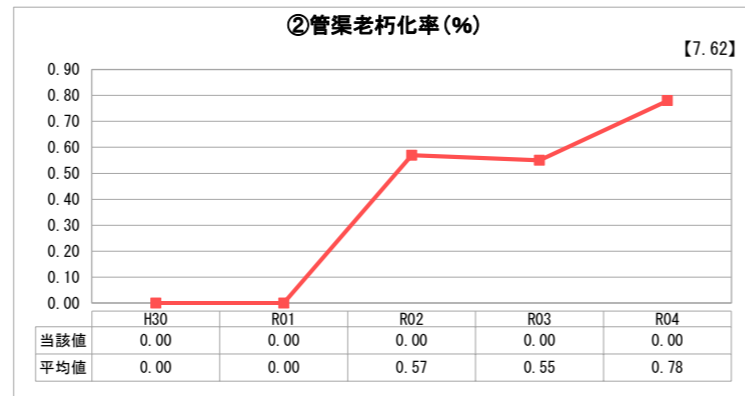
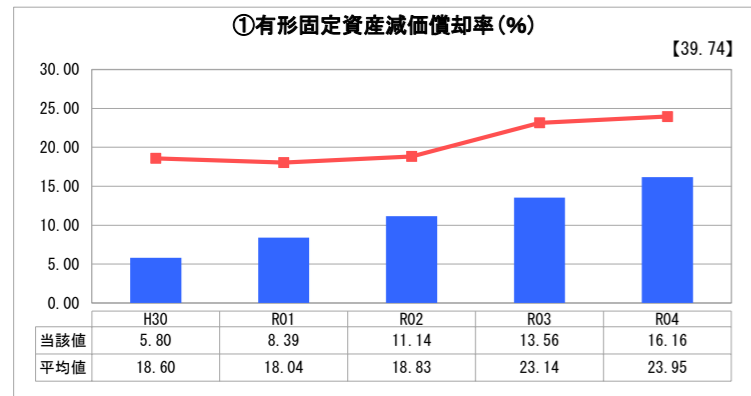
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経営の健全性については、経常収支比率は100%以上かつ類似団体平均値を上回っており、概ね良好な状態にあると言えます。流動比率は一般会計からの繰入金により実質的には100%を超過しており流動資産の不足は生じていません。企業債残高対事業規模比率は類似団体平均値の約半分と低い水準にありますが、人口減少により汚水処理量の縮小が確実な事業環境下においては可能な限り抑制していくことが重要です。経営の効率性については、汚水処理原価が類似団体平均値と同等であり、維持管理費用が上昇傾向にあることから引き続き経費の削減に努めます。施設利用率が類似団体平均値より低い状態にあるため、更新時には適正規模になるようダウンサイジングの検討が必要です。

2. 老朽化の状況について

供用開始から30年経過しておりますが、管渠老朽化による不具合はありません。今後は点検、更新計画の策定が必要となります。

全体総括

類似団体と比較して、経営の健全性は良好な状態にあると言えますが、人口減少により汚水処理量の長期的な現象が確実な情勢であることから、さらなる経営の健全化を図るため、未普及地域の解消による収益の増加や、管路及び施設の長寿命化計画等によるコスト削減などの取組みを推進する必要があります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。